

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 株式会社 昭和真空

上場取引所 大

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,643	7.8	38	—	25	—	30	—
24年3月期第2四半期	3,380	△32.1	△11	—	△42	—	△22	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 30百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.88	—
24年3月期第2四半期	△3.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	9,689	5,454	56.3	885.62
24年3月期	9,629	5,454	56.6	885.68

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,454百万円 24年3月期 5,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,257	16.5	92	—	81	—	91	—	14.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年11月8日)公表いたしました「平成25年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	6,499,000 株	24年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	340,242 株	24年3月期	340,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	6,158,758 株	24年3月期2Q	6,158,767 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4. 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等に支えられる形で回復基調にありましたが、欧州の債務・金融危機や中国経済の減速、円高の定着等により足踏み状態となっており、厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、総じて弱含みで推移いたしました。スマートフォンに代表される高機能携帯端末市場が弊社グループの主要な取引先である水晶、電子、光学などの各デバイス業界を下支えしているものの、全体としては最終製品価格の下落や長期化する円高、先行きの不透明感等から、設備投資に対する姿勢は慎重なまま推移しました。特に国内の増産設備投資については非常に厳しい状況となりました。

こうした環境の中、当社グループでは、厳しい環境下でも好調な市場を捉え、中国、台湾を中心としたアジア市場に対し拡販に注力してまいりましたが、厳しい状況が続きました。

生産面では、在庫部品の積極活用や上海子会社における生産比率を高めるなどして、原価低減を推進してまいりました。

損益面では、売上高は前期に受注済みの案件が概ね順調に推移しましたが、当第2四半期連結累計期間における受注が厳しい状況で推移したため、当初計画を下回りました。一方で、上海子会社への生産シフトをはじめとする、当社グループ一丸となって推進しているコストダウン効果や固定費削減の地道な積み重ねにより利益率は改善いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高23億55百万円（前年同四半期比28.0%減）、売上高36億43百万円（同7.8%増）となりました。

損益につきましては、経常利益25百万円（前年同四半期は42百万円の経常損失）、四半期純利益30百万円（前年同四半期は22百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、売上高は概ね順調に推移いたしました。設備投資への動きが引き続き慎重であったこともあり、受注は厳しい状況となりました。受注高は18億45百万円（前年同四半期比34.2%減）、売上高は31億33百万円（同7.6%増）、セグメント利益は3億4百万円（同1.2%減）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス業界)

水晶デバイス業界では、最新装置の拡販に注力してまいりましたが、受注は厳しい状況となりました。

水晶デバイス装置の受注高は6億26百万円（前年同四半期比54.7%減）、売上高は11億14百万円（同8.7%増）となりました。

(光学装置)

光学業界では、中国、台湾を中心としたアジア市場に対して、上海子会社で生産した価格競争力のある装置の拡販に積極的に取り組んでまいりました。

光学装置の受注高は7億49百万円（前年同四半期比60.1%増）、売上高は17億77百万円（同47.2%増）となりました。

(電子部品装置、その他装置)

電子部品業界では、増産設備投資に対する姿勢が引き続き慎重に推移しており厳しい状況となりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は4億69百万円（前年同四半期比50.6%減）、売上高は2億41百万円（同64.4%減）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、上海子会社を中心に、修理、改造、パーツ販売に積極的に取り組んでまいりました。また、株式会社エフ・イー・シーが製造・販売するマグトラン（歯のない歯車）も拡販に努めてまいりました。しかしながら、修理、改造については引き合いはあるものの正式発注に対しては慎重な動きであり、また、パーツ販売は一定量の注文があるものの全体を押し上げるまでには至りませんでした。

サービス事業の売上高は、5億10百万円（前年同四半期比8.7%増）セグメント利益は74百万円（同2.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は65億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1億57百万円減少したものの、現金及び預金が97百万円、仕掛品が70百万円、原材料が36百万円増加したことによるものです。固定資産は、31億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により69百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は96億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は26億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7百万円増加いたしました。これは主に1年以内返済予定長期借入金が2億41百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が2億79百万円、工事損失引当金が82百万円増加したことによるものです。固定負債は、15億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。これは主に長期未払金が26百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は42億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は54億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ0.3百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当が30.7百万円と包括利益が30.3百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は56.3%（前連結会計年度末56.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成24年5月11日付「平成24年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年11月8日）公表いたしました「平成25年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,263,819	1,360,941
受取手形及び売掛金	3,402,216	3,244,876
商品及び製品	8,291	12,721
仕掛品	1,256,262	1,327,089
原材料及び貯蔵品	299,842	336,388
繰延税金資産	109,428	123,271
その他	34,377	109,030
流動資産合計	6,374,237	6,514,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	839,681	813,418
機械装置及び運搬具（純額）	94,235	70,408
土地	2,162,527	2,162,527
その他（純額）	25,448	20,520
有形固定資産合計	3,121,892	3,066,874
無形固定資産		
その他	66,248	51,827
無形固定資産合計	66,248	51,827
投資その他の資産		
投資有価証券	60,548	50,271
その他	86,057	85,921
貸倒引当金	△79,731	△79,731
投資その他の資産合計	66,874	56,461
固定資産合計	3,255,015	3,175,163
資産合計	9,629,252	9,689,482

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,732,554	2,012,448
1年内返済予定の長期借入金	331,410	90,000
未払法人税等	15,182	12,935
賞与引当金	124,137	108,267
製品保証引当金	69,000	60,000
工事損失引当金	32,100	114,400
その他	241,100	255,354
流動負債合計	2,545,484	2,653,406
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	200,000	200,000
退職給付引当金	498,059	495,124
繰延税金負債	7,668	3,876
その他	123,345	82,775
固定負債合計	1,629,073	1,581,777
負債合計	4,174,557	4,235,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	849,817	849,073
自己株式	△278,091	△278,091
株主資本合計	5,502,805	5,502,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,866	3,249
為替換算調整勘定	△57,977	△51,012
その他の包括利益累計額合計	△48,111	△47,762
純資産合計	5,454,694	5,454,299
負債純資産合計	9,629,252	9,689,482

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,380,279	3,643,361
売上原価	2,708,135	2,975,834
売上総利益	672,144	667,527
販売費及び一般管理費	683,868	628,850
営業利益又は営業損失(△)	△11,724	38,676
営業外収益		
受取利息	710	917
受取配当金	243	191
受取賃貸料	10,352	6,416
作業くず売却益	253	917
その他	1,637	2,448
営業外収益合計	13,197	10,890
営業外費用		
支払利息	15,727	5,513
売上債権売却損	9	—
為替差損	5,543	13,653
社債発行費	17,086	—
その他	5,833	4,612
営業外費用合計	44,200	23,779
経常利益又は経常損失(△)	△42,726	25,786
特別利益		
固定資産受贈益	7,082	—
特別利益合計	7,082	—
特別損失		
固定資産除却損	104	56
特別損失合計	104	56
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△35,748	25,730
法人税、住民税及び事業税	7,862	8,788
法人税等調整額	△21,437	△13,108
法人税等合計	△13,574	△4,320
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△22,173	30,050
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,173	30,050

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△22,173	30,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,328	△6,616
為替換算調整勘定	4,253	6,964
その他の包括利益合計	△16,074	348
四半期包括利益	△38,248	30,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,248	30,398

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△35,748	25,730
減価償却費	83,410	74,061
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△94	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,920	△2,934
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,000	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,245	△15,870
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△25,000	△9,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	36,400	82,300
受取利息及び受取配当金	△954	△1,108
支払利息	15,727	5,513
売上債権の増減額(△は増加)	621,886	160,072
たな卸資産の増減額(△は増加)	△402,131	△110,768
未収消費税等の増減額(△は増加)	△30,366	△30,939
仕入債務の増減額(△は減少)	286,436	278,408
未払消費税等の増減額(△は減少)	△94,602	△4,906
その他	△95,055	△48,672
小計	332,581	401,886
利息及び配当金の受取額	959	1,110
利息の支払額	△16,507	△5,534
法人税等の支払額	△20,513	△12,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	296,519	385,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,207	△1,003
有形固定資産の取得による支出	△5,583	△1,884
無形固定資産の取得による支出	△231	—
その他	1,366	136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,656	△2,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△375,480	△241,410
社債の発行による収入	782,913	—
社債の償還による支出	△1,000,000	—
自己株式の取得による支出	△23	—
配当金の支払額	△61,182	△30,549
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△16,947	△16,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,719	△288,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,121	2,425
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,264	96,118
現金及び現金同等物の期首残高	971,738	1,241,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,044,002	1,337,296

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,910,756	469,522	3,380,279
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,059	10,273	36,333
計	2,936,816	479,795	3,416,612
セグメント利益	308,036	75,865	383,901

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	383,901
のれんの償却額	△3,461
全社費用（注）	△392,164
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△11,724

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,133,105	510,256	3,643,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	211,418	219,137	430,556
計	3,344,523	729,393	4,073,917
セグメント利益	304,288	74,131	378,419

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	378,419
セグメント間取引消去	20,609
全社費用（注）	△360,352
四半期連結損益計算書の営業利益	38,676

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,114,154	108.7
光学装置	1,777,666	147.2
電子部品装置	241,283	35.6
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	3,133,105	107.6
サービス事業		
部品販売	400,107	115.3
修理・その他	109,075	88.9
サービス事業計	509,183	108.4
合計	3,642,288	107.7

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	626,112	45.3	780,217	82.6
光学装置	749,468	160.1	585,558	98.3
電子部品装置	412,953	46.5	299,812	10.9
その他装置	57,000	90.5	57,000	90.5
真空技術応用装置事業計	1,845,534	65.8	1,722,589	39.7
サービス事業				
部品販売	401,180	115.7	—	—
修理・その他	109,075	88.9	—	—
サービス事業計	510,256	108.7	—	—
合計	2,355,790	72.0	1,722,589	39.7

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 外貨建受注残高の為替レート変動による減少額1,814千円は、当第2四半期連結累計期間末残高より減算しております。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,114,154	108.7
光学装置	1,777,666	147.2
電子部品装置	241,283	35.6
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	3,133,105	107.6
サービス事業		
部品販売	401,180	115.7
修理・その他	109,075	88.9
サービス事業計	510,256	108.7
合計	3,643,361	107.8

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。